



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ



クラブ会報 なんと

NO. 2620

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 及び光前 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影

写真同好会

高野美会員



3/24の満月

第2691回例会 令和6年3月12日(火) 小雨 4℃

《例会変更》 夜間例会 「みや川」

◆点 鐘 18:00 木村伊徳会長

◆司 会 野村 守SAA

◆国歌「君が代」ソング「四つのテスト」

◆ゲスト 米山記念奨学生 倪献策 (ニー・シェンチュ) 君



◆会長の時間 木村伊徳会長

3月17日は彼岸の入りとの事です。そして今年は10月25日が彼岸明けとの事です。仏教で春分と秋分の日を指す言葉です。

日本の伝統的な行事である彼岸の中心となる時期であり、先祖や亡くなった人々への供養や、身内の無病息災を祈る期間です。

皆さんはこの時節になると墓参りをされているかと思えます。私は時々思い出した時にしか墓参りしてませんので『バチ』が当たるかと思っております。忙しさにまかせて先送りしている事を自覚していますが…。先祖様から『やめかれる』と思いながら毎日を過ごしております。

◆臨時理事会 尾山裕和幹事

①新入会員の件 鮫島智爾(さめじまともじ)氏

鮫島建設代表 南砺市福光701-9 推薦者 久恵龍三会員、上坂英伸会員

◆幹事報告 尾山裕和幹事

①第48回5ロータリークラブ合同親睦ゴルフ大会の案内 5/24(金) ゴルフ倶楽部ゴールドウイン

②4/2(火)観桜会案内…富士見RCからも参加あり。

場所は金沢兼六坂「さくら亭」。参加者多数お待ちしております。兼六園散策16:00～懇親会17:00～19:00。バス/城端駅前15:00→福光東口15:10→福野庁舎前15:20。(帰り)福野19:50→福光20:00→城端20:10



◆ニーシェンチュエ奨学生近況報告



今日は初めて夜間例会に参加しました。とても楽しみです。

4月は新しい学期になりますね。私は今年の9月に博士課程を終了する予定なので、来月から卒業論文を書き始める積りです。前回の論文を発表した後、アルツハイマー病に関連した新しいテーマを開始しました。様々な原因や遺伝子変異がアルツハイマー病を引き起こす可能性があります。異なる原因によって誘導される病理的現象も違います。一つの動物実験モデルでは、アルツハイマー病の全ての病理学的変化を表現することが難しいため、最近では新しいアルツハイマー病の動物モデルを使用して研究を行っています。面白いところが幾つか見つかりましたのでこれらの発見も博士論文に取り入れたいと考えていますが、実験はまだ時間が掛ります。早く終わることを願っています。また、最近では将来の仕事についても考えています。(中国の大学に履歴書を送り始めました。)私は一人っ子なので、両親は故郷で働くことを希望していますが、北の方にある故郷と比べると南の方が研究レベルや給料などの条件がよりよさそうです。だから、この点でちょっと悩んでいます。皆さんからのアドバイスがあれば、ぜひ教えてください。

★ニコニコボックス 3/12 安居利浩委員長

- 木村君 今日の夜間例会、皆さん宜しくお願いします。楽しみましょう!
- 尾山君 今月は3日氷見IM、10日小矢部中RC40周年、本日夜間例会、飲み会続きのロータリーです。
- 古瀬君 今後も夜間例会つづきますように。
- 高野君 寒い日が続きますね。
- 石崎和君 夜間例会にて。
- 山田清君 城端の日中は雪でした(涙)
- 川合君 久しぶりの夜間例会です。
- 榊君、牧君/ 夜間例会、楽しみです。
- 古軸君 久しぶりに夜間例会に出席できて、今日は楽しみです。
- 宮川君 卓話担当です。高齢の為谷村修会員の好意に甘えます。谷村修基君ありがとうございました。
- 森 悦君 夜間例会(酒宴)飲み過ぎない様に。
- 久恵君 夜間例会、大好き!!
- 石崎雄君 先週、長女のいるラオスへ行って来ました。35℃を超える暑さでしたが、人が親切で優しく、離れて暮らす次女・三女も現地集合で、とても良い旅となりました。
- 谷村賢君 (好きな事書いて下さい) あんなにウォーキングしているのに未だに100gしか落ちていません。【目標=15kg!!】?
- 吉田美君 みや川で夜間例会、初めてです。お料理が楽しみです。
- 大島君 会社に出勤しました。
- 高瀬君 夜間例会、初めてです。楽しみです。
- 安居君 夜間例会、毎日宴が続いています。

本日のプログラム 3月26日(火) 第2692回例会 卓話

担当 新会員 大島 孝君

◆出席報告 吉田 実委員長

会員数	3月12日出席率	2月27日(修正)
44 (免除1)	67.44% (出席29)	76.74% (出席33 内マーク2)

メーキャップ: 谷村賢治君、船藤幸生君。

次回の予定 4月2日(火) 第2693回例会
《例会変更》【観桜会】 兼六園散策後「さくら亭」
例会、後懇親会 担当 谷村賢治親睦委員長

四つのテスト
言行はこれに照らして

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

…高齢のため谷村会員の好意に甘えます。
谷村修基くんありがとうございます。



◆商品の紹介

2011年ごろより弊社で製作している商品で反物の巻芯があります。積層段ボールカットした物に片面段ボールを巻いたもので、角が丸くなっており、反物にクセがつきにくいという特徴があります。両側面には社名の印刷されたラベルを貼り付けます。ラベル貼りは内職の方、間に合わない時は社内人員で貼っています。ターバンの生地が巻かれ、中東方面へ輸出されているようです。月に1万から2万本、ラマダンセール前の繁忙期には月3万本ほど納品しています。



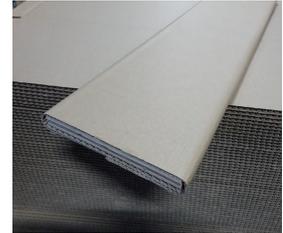
中東売り場

◆問題点 ラベル貼りに時間がかかる

この仕事を始めた直後、側面のラベル貼りが曲者であるという事がわかりました。お客様より支給されるラベルを糊付け機に通し貼っていくのですが、最初のは水糊をつけた直後にラベル上下方向より反りが発生し、5秒もたたない内に鉛筆くらいの細さまで巻き込んでしまい伸ばして貼るのが困難、というかほぼ不可能でした。そのため支給ラベルの用紙方向を変えてもらい、ラベル左右方向からの反りとなる事で作業可能となりました。それでも最初の頃はなかなかうまく貼れず月5000本が限界でしたが、だんだん内職の方の技術も上達し必要数を供給できるようになりました。それでも間に合わない時は社内人員で貼るのですが、向き不向きがあり、上手な人で1時間に100本、あまり上手でない人で50本程度の差があります。繁忙期である現在1日1000本のペースで納品する必要が有ります。

◆納期と数量の問題

1年通して平均して出てくれればいいのですが、ラマダンセールなどの理由があり、極端に数量が増える時期が3~4ヶ月あります。ラマダンであれば毎年少しずつ時期がずれていくはずですが、なぜか12月~3月の冬の間が多くなります。見越して秋の内に少しずつ在庫を貯めていくのですが、1m角ほどのパレットに500本積みなのでせいぜいで2万本、40パレットで社内置き場所はいっぱいになってしまいます。製作しながら在庫を出していきませんが、2ヶ月ほどで在庫は空になり後の2月3月が苦しくなります。



巻芯

◆10年以上続けて

当初、ラベル貼りに時間がかかるという事で自動、または半自動で機械的にラベルが貼れないか、世の中にラベル貼りの機械がないか探しましたが、正面、丸みのある側面、上下と貼れる様な機械はなく、社内でいろいろジグ(治具)の様な物が作れないか色々試しましたが、水糊を付けたラベルが反ってくる、などという問題がありうまくいきませんでした。また、支給ラベルをシール用紙での提案もしましたが、コスト面や用紙が硬く貼りにくいといった問題もあり採用されませんでした。そのうち、内職の方の技術も向上し、手作業だけで貼った方が早いという結論となりました。スポットで通常のラベルと違い、やや硬い紙に全面印刷され、しかもラベルの面積が小さいという大変貼りにくい場合もあります。その場合社内で貼ったりもしていたのですが、あるとき内職の方のやり方を見せてもらって水糊をつけたラベルを品物にすぐ貼らず一旦おいて紙を柔らかくする、紙のコシを殺す、というやり方をされていました。また水糊で貼ったラベルは、貼った後ふやけてシワが寄って来るのが気になり押さえて伸ばしたくなりますが、紙は乾くとまた縮んで張りシワがなくなるので気にせず品物を上に積んで押さえる、といったノウハウも増えていきました。

冬には、内職の方がインフルに罹ることがあります。もう大変で、社内でラベル貼りをすることになり、私も休日返上で朝から夕方までラベル貼りをします。そうこうしているうちに春になり、出方も落ち着いてきて普通に仕事できる様になります。そうやって10年なんとかやってきましたが、内職の方も高齢となり作業場の納屋まで除雪も大変でもうやめさせてほしい、ということになりました。他に内職をお願い出来るような所も無く、大変困りましたが、福岡町にあり弊社より納品もある同業者に若干作業賃upで引き受けて頂ける事になり一安心しました。また1からラベルの貼り方を教え、内職の方の時より数量は少ないですが安定して製作して頂き、これで大丈夫だと思いましたが2年ほどたった所で5月に作業されている建物を引き払う事となり、作業員も高齢でやめられるという事で、ラベル貼りの仕事は4月迄でもうできない、という事を昨年暮れに告げられました。

◆作業台の製作

13年で振り出しに戻る事になりました。あと残された選択肢は以前お客様より教えて戴いた会社に依頼(白山市)、同業者に依頼(養護施設で作業)、社内で製作の3つがあります。社外にお願いする場合遠方である事や配達、集荷など問題が出てきます。社内でやる場合は人員不足で追いつかない問題がありますが、デリバリーや数量などの管理が楽で、作業費も社内に残ります。なんとか自社内で貼れないか色々考えてみる事にします。10年以上自分でも自然に手が動くくらいラベルを貼ってきたので、色々脳内で試行錯誤できます。まず、作業内容を分解して考えてみました。位置合わせ、左右曲げ、左右曲面折り、上貼り、ひっくり返して左右曲面折り、下貼りがあります。位置合わせは品物と台の高さを合わせれば良さそうです。左右曲面折りと上下はひっくり返さず出来ると早そうです。ここである事に気がつきました。ラベル位置合わせの時、品物をラベルに押し当てれば問題の反りがある程度克服できそうです。押さえた状態で各作業を順番にやる方法であればジグ(治具)が作れるのではないかと、という考えに至りました。しかし、過去の経験からジグ(治具)を作っても上手くいかないのではないかと不安もあり、なんとなくためらっていましたが、2月、木村会長より3月12日の卓話諸般の事情で宮川さん出来なくなったと連絡あり、プログラム委員なのでどうしたものかと少し考え、今回のラベル貼り作業台の製作を卓話で話せばどうか、と思い至りホームセンターで材料を買い集め製作作業に取り掛かりました。パネによる抑え台の前後スライド移動に連動させたクランク機構により左右より側面おさえがせりだし、ローラーにて上下挟んで圧着という機構で考えました。本日完成し昼頃テストしましたが、結果は予想どおりまだまだうまくいかないものでした。しかし、成功している箇所もあり、改良を続ければなんとかかなるような気がします。



試作ラベル貼り機

色々なことを一度に盛り込みすぎたように思います。現在まだ成功には至っていませんが、今回こうして1台作業台を作ってみることで過去に思いつけなかったアイデアが色々頭で思い浮かんできます。今後も改良を重ね、ラベル貼りのスピードを2倍まで持って行き、数台用意すれば全然いけるのではないかと夢見ながら、もうしばらくあがいてみたいと思います。

要改良